

阿蘇山

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

概況

中岳第一火口では、湯だまり内で高さ 5 m 程度の小規模な土砂噴出や噴湯現象が継続しています。湯だまり量は、3 月 16 日から約 3 割が継続しています。

A 型地震は日に数回程度と少ない状態で、また孤立型微動は日に 100 回前後とやや多い状態で推移しました。火山性連続微動は月の前半は断続的に発生し、12 日 18 時 02 分以降継続して発生しています。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は 500m (3 月 : 600m) で特に異常は認められませんでした(図 1、図 2)。

地震・微動活動の状況

A 型地震の月合計は 25 回 (3 月 : 20 回) と少ない状態でした(図 1、図 2)。B 型地震の月合計は 4 回 (3 月 : 36 回) と減少しました(図 1、図 2)。地震の震源は中岳第一火口付近と中岳の北約 5 km の 2 ヶ所です(図 3)。

孤立型微動の月合計は 2,724 回 (3 月 : 2,983 回) で、日回数は 100 回前後で推移しました(図 1、図 2)。また、火山性連続微動は月の前半は断続的に発生し、12 日 18 時 02 分以降継続しています (図 4)。

火口や噴気地帯の状況

中岳第一火口の湯だまりの量は、3 月 16 日から約 3 割が継続しています。湯だまりの色は灰色で、湯だまり中央部付近では高さ 5 m 程度の土砂噴出が続いており、それ以外にも高さ 2 ~ 3 m 程度の土砂噴出が多数発生しています。

湯だまりの表面温度は 70 以上(最高 81 (30 日))で、南側火口壁下の温度も最高で 446 (30 日) と高い状態が続いています(図 1)。

(温度測定は、赤外放射温度計による)

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、草千里 - 砂千里浜、草千里 - 仙酔峡、砂千里浜 - 仙酔峡の各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図 5)。

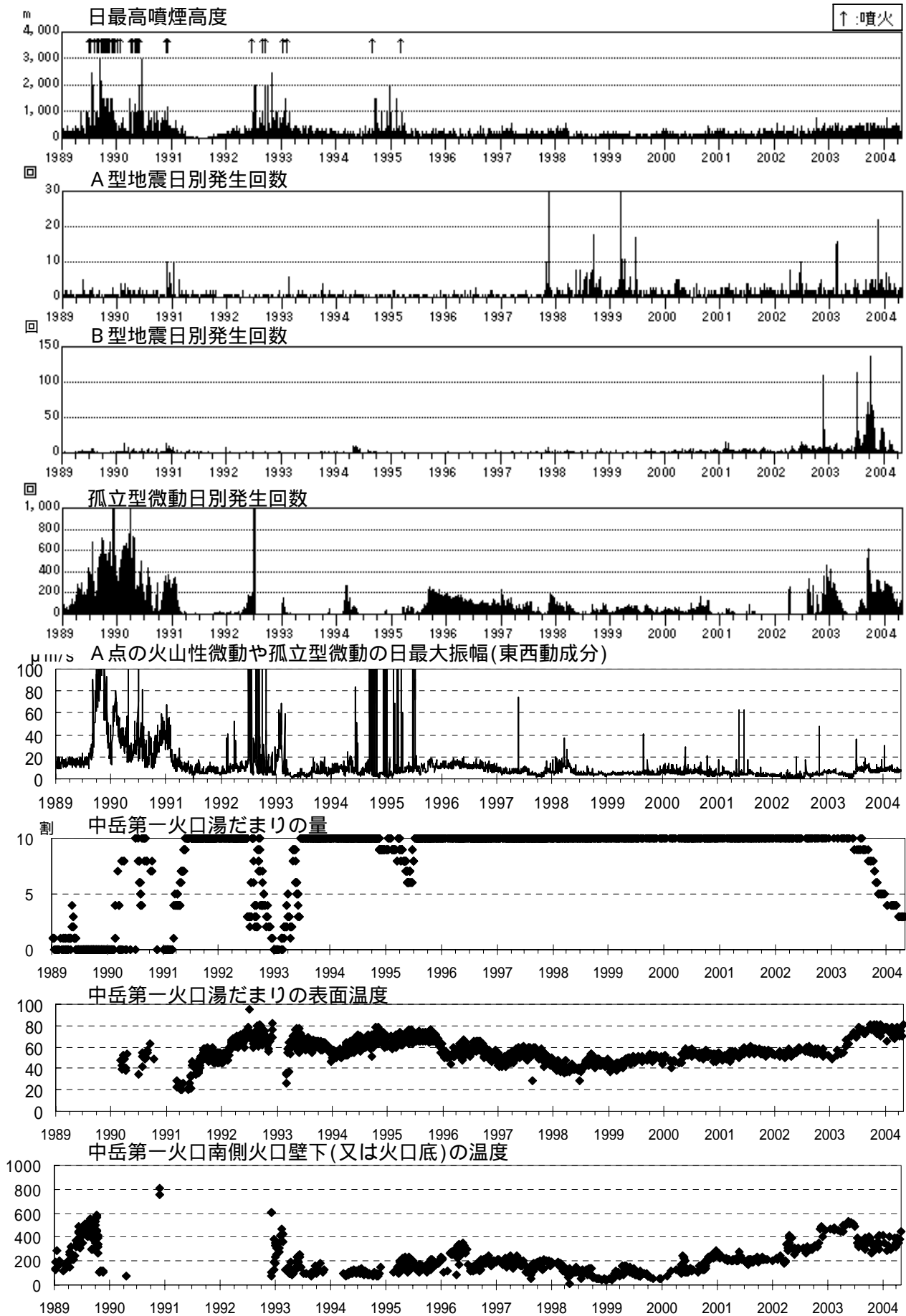


図1 火山活動経過図(1989年1月1日~2004年4月30日)

阿蘇山

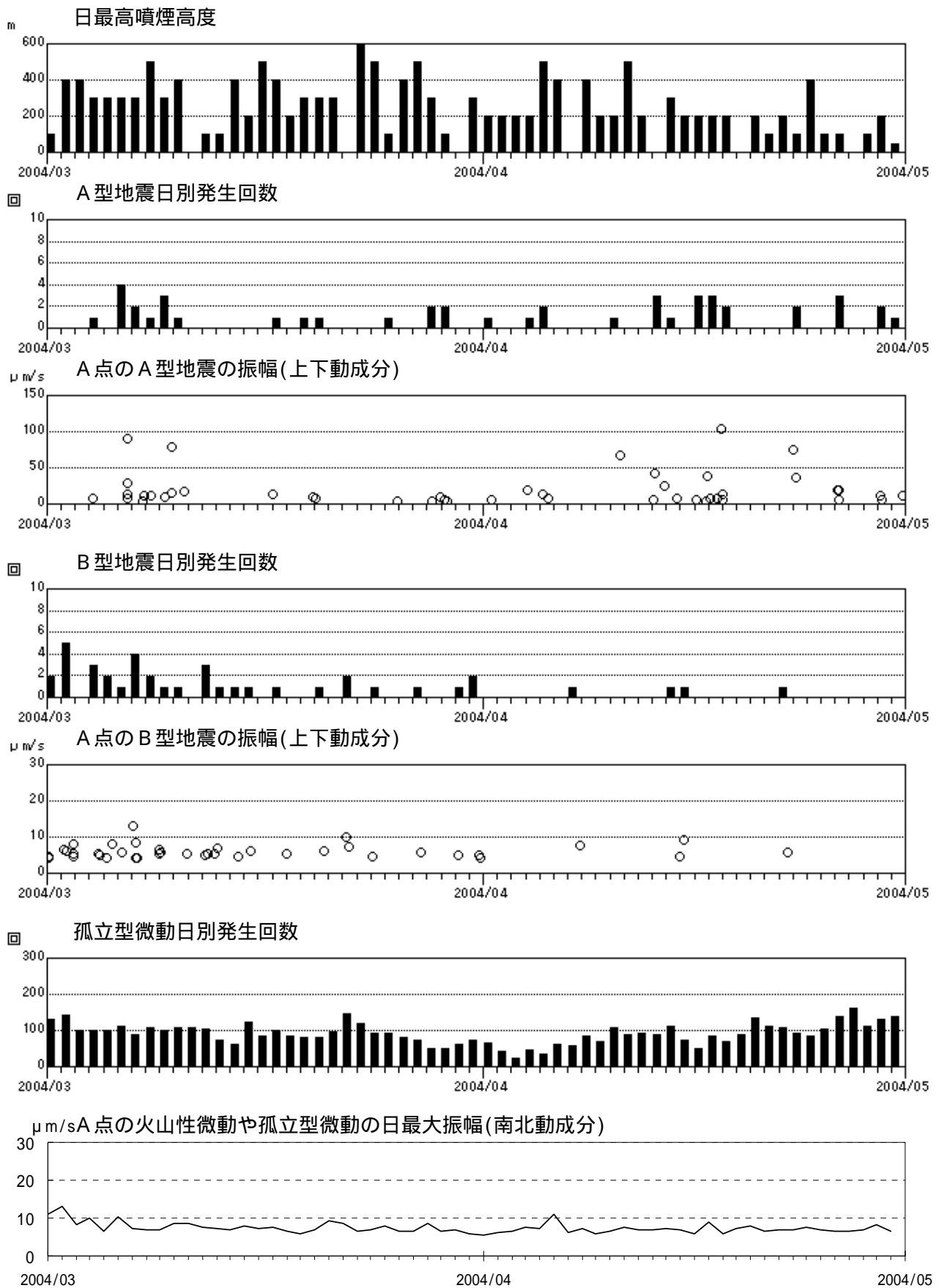


図 2 火山活動経過図(2004 年 3 月 1 日 ~ 4 月 30 日)

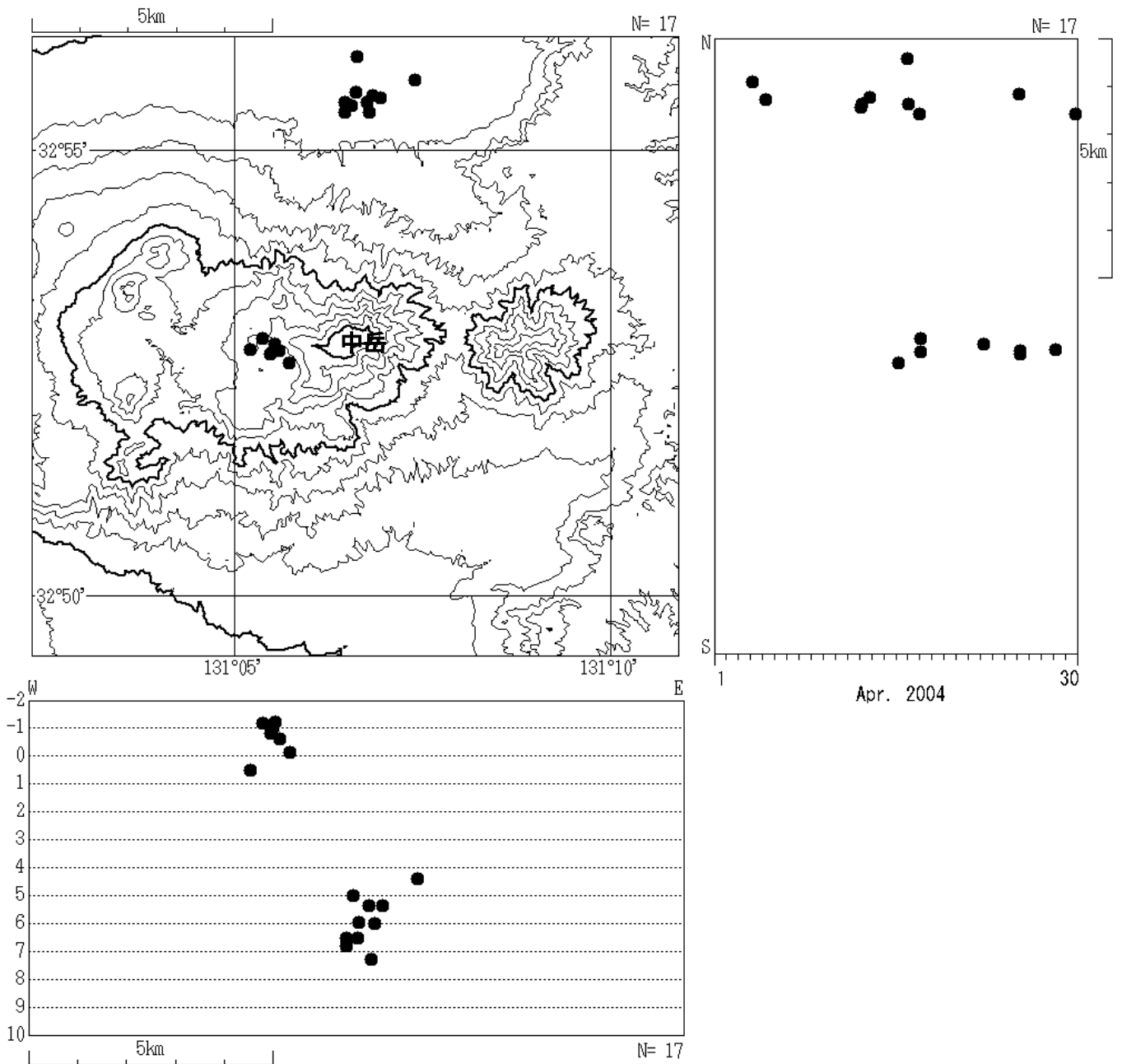


図3 火山性地震の震源分布図(2004年4月1日~30日)
震央分布図(左上), 時空間分布図(右上), 東西断面図(下)

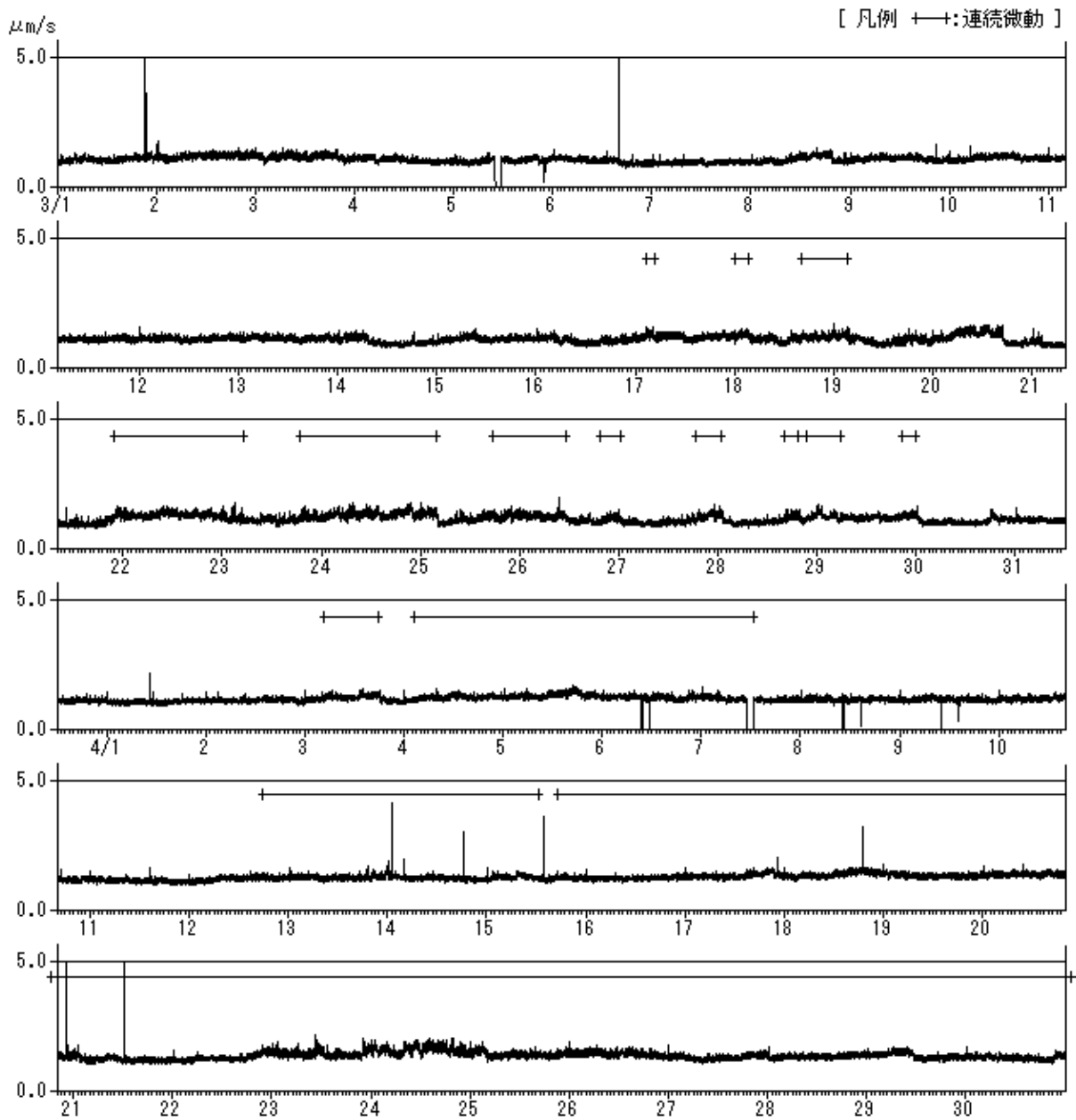


図4 1分間平均振幅の時間変化(A点南北動成分)(2004年3月1日～4月30日)

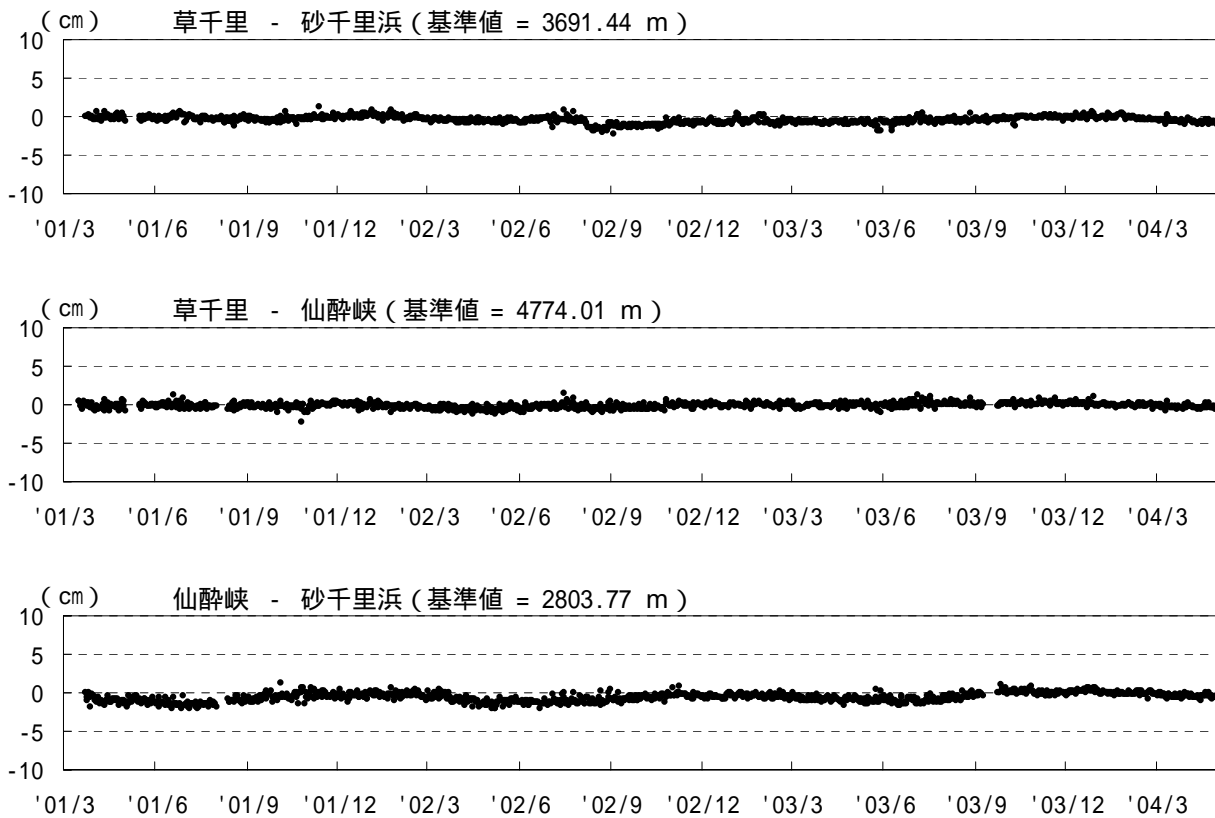


図5 GPS観測による基線長変化(2001年3月15日~2004年4月30日)

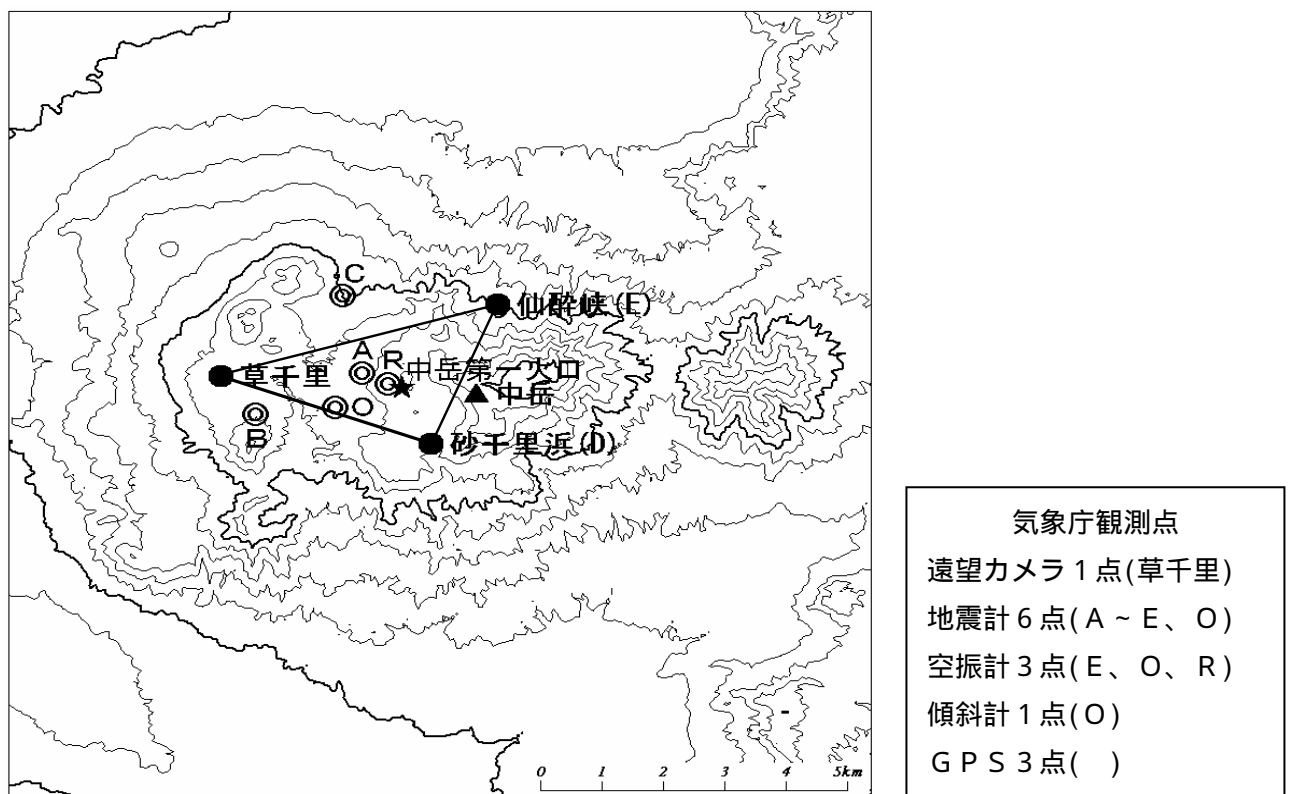


図6 観測点位置図